

ASKUL Logi PARK 首都圏火災 近隣説明会

アスクル株式会社

平成29年3月7日(火)

19:00開始 三芳町立中央公民館

<本日の登壇者>

アスクル株式会社

代表取締役社長

イワタ ショウイチロウ

岩田 彰一郎

物流担当執行役員

カワムラ カツヒロ

川村 勝宏

ASKUL LOGIST株式会社

代表取締役社長

エダ シュウイチ

江田 修一

本火災についてのお詫び

<本日の内容>

1. 物流センターの概要
2. 本火災の状況に関するご報告
3. 周辺環境調査のご報告
4. 近隣の皆様へのご対応
5. 質疑応答

1. 物流センターの概要

<物流センターについて>

稼働開始： 2013年7月末

建物階数： 地上3階建

敷地面積： 約55,062m²（約16,685坪）

延床面積： 約72,126m²（約21,856坪）

土地、建物、設備、商品： アスクル(株)が所有

運営会社： ASKUL LOGIST(株)

アスクル(株)100%出資

資本金90百万円、従業員数約2,500名

就業人数： 764名(2月16日時点)



<物流センター内の写真>

1階	2階	3階
 <p>入荷スペース</p>		 <p>自動倉庫スペース</p>
 <p>配送方面を仕分けする設備</p>	 <p>商品棚から、指示書に従って 商品を取り出すスペース</p>	 <p>保管スペース</p>

<主な取り扱い商品(在庫商品)>

※約7万種類の商品

<p>食料品・飲料・日用品</p> 	<p>事務用品・文房具</p> 
<p>インテリア・電化製品</p> 	<p>コピー用紙・生活紙</p> 

2. 本火災の状況に関するご報告

火災状況の経過

2月16日(木)	火災発生 当日446名が就業中(負傷者2名、病院に搬送)
同日	さいたまふじみ野所沢線通行止め (上富交差点～多聞院入口交差点間上下線)
2月17日(金)	負傷者2名退院
2月19日(日)	倉庫内で延焼拡大し、6世帯に避難勧告
2月22日(水)	鎮圧
同日	避難勧告解除、避難所閉鎖、交通規制解除
2月28日(火)	鎮火

※火災の原因等については、消防法に基づく総務省消防庁の長官調査で、同庁と国土交通省、県、県警、同消防組合が連携して、現在も調査中です。

3. 周辺環境調査のご報告

**2月16日(木)火災発生から
2月22日(水)鎮圧までの間は、
ススを含んだ黒煙・ガスや
水蒸気を含む白煙が出ていましたが、
延焼中の煙の調査はできませんでした。**

①鎮圧後 | 大気への影響

【調査目的】

鎮圧後の大気の状態を把握

【調査概要】

採取日時：2月24日(金)

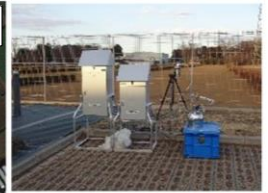
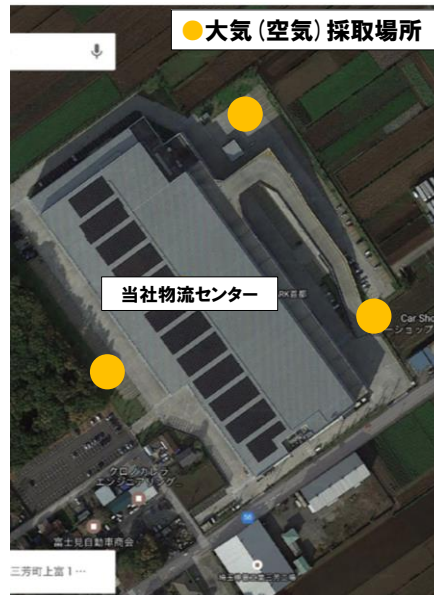
採取場所：当社物流センター周囲3カ所
三芳町役場はなれ屋上

検査機関：東京テクニカル・サービス(株)

調査項目：環境省の定める「優先取組物質」
⇒ベンゼン、トルエン、ヒ素など23項目

【調査結果】

3月末頃に調査結果が出る予定です。



①鎮圧後 | 大気への影響



2017年2月24日採取

②出火から鎮圧まで | 大気への影響

【調査目的】

出火から鎮圧までの大気の状態を把握

【調査概要】

環境省「そらまめ君(環境大気汚染物質広域監視システム)」の常時観測データを分析

読取期間：2/15 午前9時～2/22 午前9時

および2/26 午前9時～3/5 午前9時

場所：三芳町近隣の測定局 4局

分析機関：東京テクニカル・サービス(株)

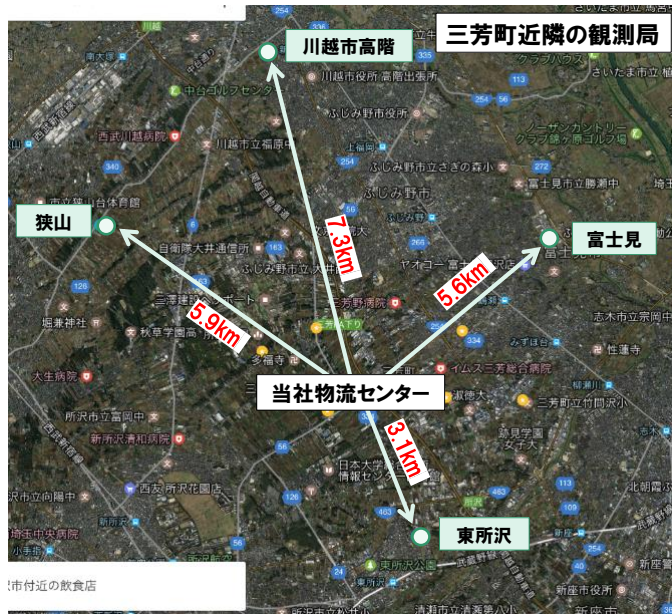
【調査結果】

環境基準値を超えていない。

但し、16日および17日には測定項目の値が平常時より高くなっていた。

(東京テクニカル・サービス)

基準値：法定上定められた調査項目により、安全を担保する数値

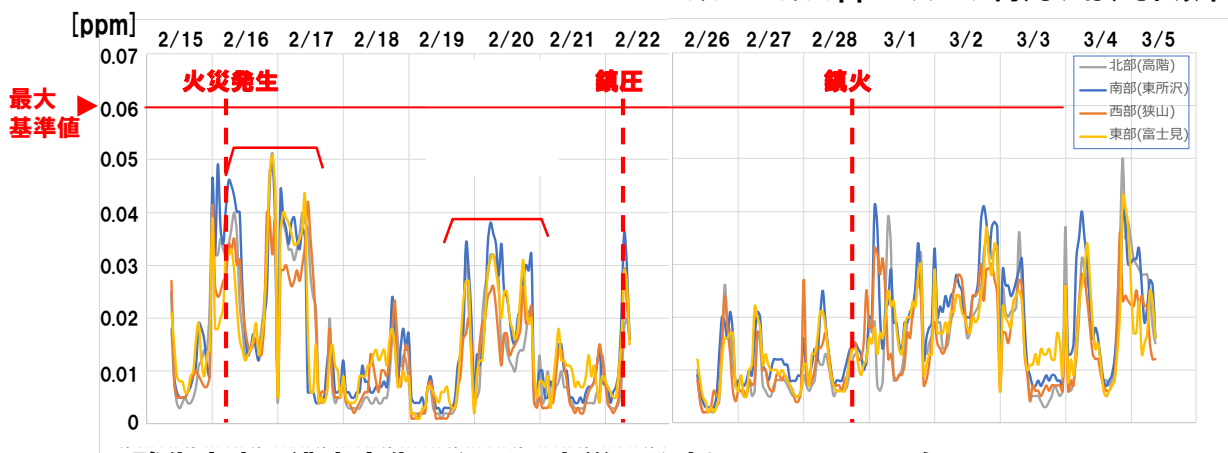


大気への影響 | NO2 (二酸化窒素)

【環境基準】

1時間値の1日の平均値が

0.04~0.06ppmのゾーン内、または、それ以下



二酸化窒素の濃度変化をみると、火災の発生した16～17日に二酸化窒素量が多くなっているが、すべての地域において環境基準値内である。

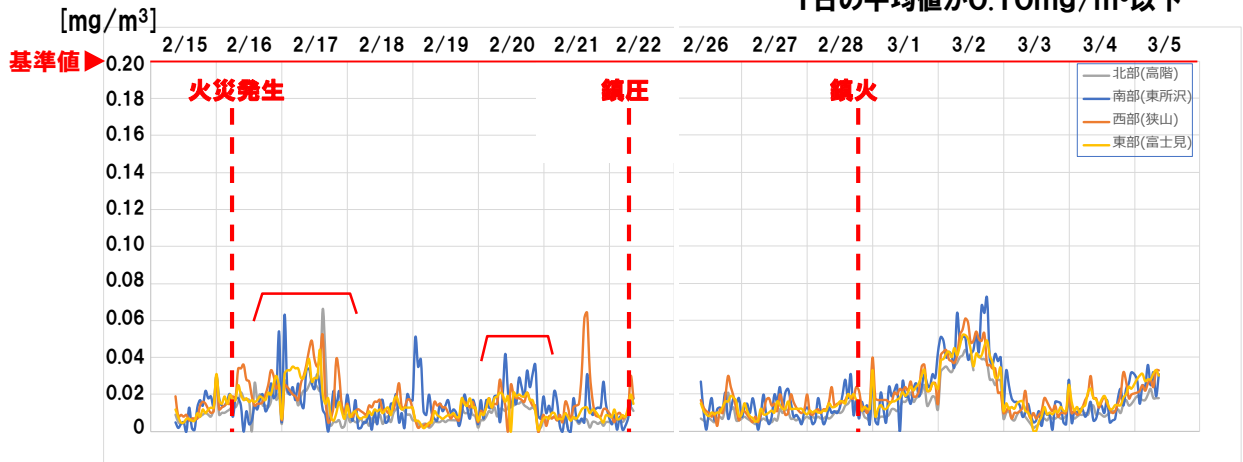
出典：環境省「環境大気汚染物質広域監視システム(そらまめ君)」

データ分析：東京テクニカル・サービス(株)

大気への影響 | 浮遊粒子状物質 (SPM)

【環境基準】

1時間の値が0.20mg/m³以下、かつ、
1日の平均値が0.10mg/m³以下



浮遊粒子状物質の濃度変化をみると、火災の発生後、16～17日に浮遊粒子状物質が高くなっているが、すべての地域において環境基準値内である。

出典：環境省「環境大気汚染物質広域監視システム(そらまめ君)」
データ分析：東京テクニカル・サービス(株)

③鎮圧後 | 下水への影響

【調査目的】

鎮圧後の下水の状況を把握

【調査の概要】

消火のために大量の消火水が使用された。消火水の影響を見るために、下水の調査を実施。

採取日時：2月24日(金)

採取場所：①物流センター敷地内消火水
②砂川堀 2カ所

検査機関：東京テクニカル・サービス(株)

調査項目：水質汚濁に係る環境基準など

【調査結果】

3月末頃に調査結果が出る予定です。



試験機関：東京テクニカル・サービス株式会社 概要

**経済産業省所管の
独立行政法人製品評価技術基盤機構が
認定している検査機関**

資格名：MLAP (エムラップ)

**⇒計量法特定計量証明事業者認定制度に基づく認定特定計量証明事業者
(排ガス・環境大気・環境水・排水など)**

2017年2月27日現在、91事業所

**その他、作業環境測定機関登録、水道水質検査機関登録、
建築物飲料水水質検査業登録、建築物空気環境測定業登録など**

設立：1971年2月

資本金：20百万円

住所：東京都江戸川区西葛西8-20-20

4. 近隣の皆様へのご対応

<検診について>

医師による検診を受診していただけます^(※1)。

受診いただける方	実施期間	実施場所
・三芳町上富 ・所沢市中富 にお住まいの皆様	平成29年 3月11日(土)~15日(水) (※2)	三芳町役場の近隣会場 (各日ごとに会場が違います ので、詳細は以降のページ にてご確認ください。)
・上富小学校 ・三芳小学校 ・三芳中学校 の児童・生徒の皆様	平成29年 3月第3週までに実施	各学校で実施 詳細は各学校より お知らせいただく予定です。

※1 検診にかかる費用は弊社にて負担させていただきます。

※2 上記期間に受診できない方も、3月末まで所定の病院で同様の検診を受診していただけます。

<検診について>

○検診内容

- ・ 医師による問診と診察(結膜・咽頭・聴診)
- ・ 医師へのご相談

※ 各学校で実施する検診も同じ内容となります。

[再検診について]

弊社火災を原因として再検診が必要とされた方(児童・生徒含む)には、眼科・耳鼻科・胸部レントゲンの専門医による再検診を実施させていただきます。

<検診について>

○会場と実施日時

- ・ 3/11 (土) : コピス(三芳町文化会館) ミニホール(2階)
- ・ 3/12 (日) : コピス(三芳町文化会館) 会議室1(2階)
- ・ 3/13 (月) : 三芳町総合体育館 小会議室1(3階)
- ・ 3/14 (火) : 三芳町総合体育館 小会議室1(3階)
- ・ 3/15 (水) : コピス(三芳町文化会館) ミニホール(2階)

※ 9:30~13:00、14:00~17:00 の中からお選びいただけます。

○ご予約方法

- ・ 検診ご希望窓口:0120-994-906
- ・ ご予約受付期間:3月4日(土)~14日(火) 土日含む9時~19時

[上記期間に受診できない方]

3月末までの月・木曜日は、イムス三芳総合病院「健診窓口」にて、「アスクル火災の件」とお伝えいただければ、同様の検診を無償で受診いただけます。

**近隣の皆様には、ご迷惑をおかけし、
大変申し訳ございませんでした。**

5. 質疑応答

本日のご説明内容は、弊社ホームページにも掲載いたします。

<http://www.askul.co.jp/kaisya/index.html>

その他のご要望、お問い合わせについて

【総合ホットライン窓口】

電話番号：03-4330-5399

(平日9時～20時)まで

ご連絡くださいますようお願いいたします。